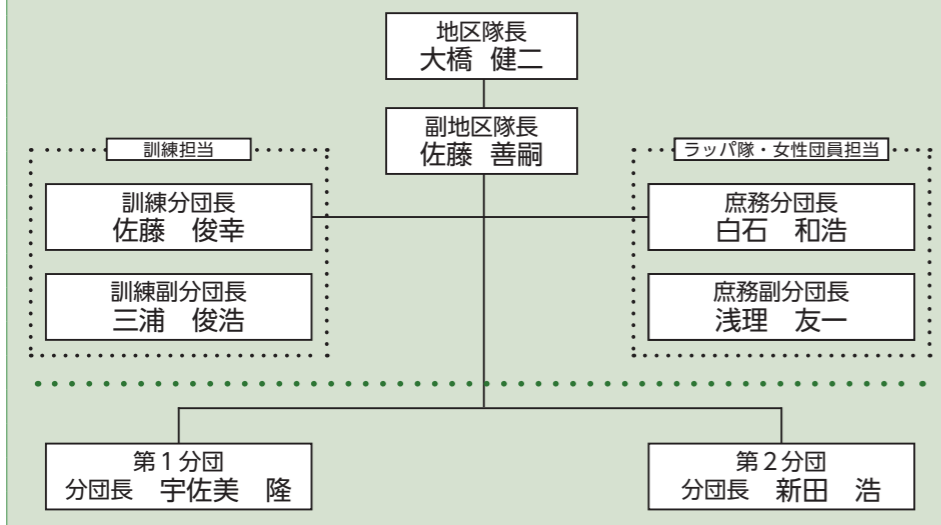


大越地区隊消防団組織図



▲小型ポンプ操法の部で優勝した大越地区隊第2分団の要員と幹部、団員

また、これからの時期は台風による風水被害が予想されます。緊急出動にも備え、被害を最小限に抑えられますよう大越地区隊一丸となって活動していきます。

大越地区隊管内は住民の皆様の防災意識が高く、おかげさまで災害が少ない地域になっていきます。予防消防活動では地域をあげてご協力をいただき、今年の春季検閲では無火災分団表彰を受けました。来年度も表彰されるよう大越地区隊として、より一層努力していく所存です。

大越地区隊は、地区隊本部と2つの分団で構成されていますが、今回は第2分団について紹介します。第2分団は上大越地区の一部と早稲川、牧野、栗出地区の安全を守っています。

今年の市消防操法大会では、小型ポンプ操法の部に出場しました。田村消防署大越分遣所の皆様や、訓練部の指導を受けたおかげで、見事優勝することができました。この経験を今後の消防活動に生かしながら、技術向上のため、さらに訓練を積んでいこうと思います。

6月22日、常葉運動場で開催されました。結果は次のとおりです。

- ポンプ車操法の部
 - 優勝 船引地区隊移分団
 - 準優勝 常葉地区隊第1分団
 - 第3位 滝根地区隊第3分団
- 小型ポンプ操法の部
 - 優勝 大越地区隊第2分団
 - 準優勝 都路地区隊若井沢分団
 - 第3位 滝根地区隊第3分団

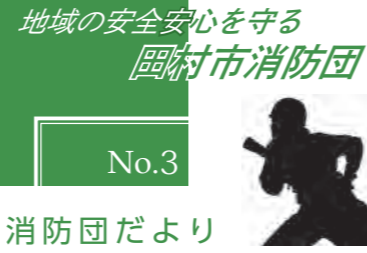
ポンプ車操法、小型ポンプ操法の部で優勝した船引地区隊と大越地区隊は、7月27日、小野町で開かれた第5回田村支部消防操法大会に田村市代表として出場しました。

田村市消防団 大越地区隊 隊長 大橋 健二

第5回田村市消防団 消防操法大会



▲ポンプ車の部で優勝した船引地区隊移分団



消防団の組織や活動内容などを紹介する「消防だより」の第3回目は、大越地区隊をお知らせします。

大越地区隊は、地区隊長を筆頭に計6人の本部員と、各地域を統括する分団長2人、副分団長2人、部長6人、班長12人、団員150人のほか、女性消防団員20人の計198人が所属しています。車両はポンプ車3台と積載車6台、軽積載車6台の計15台を所有し、機動力を生かしながら地元から火災を出さないよう団員一丸となって、無火災広報などで予防消防に取り組んでいます。また、訓練や機械器具点検を行い、緊急の火災出動にも備えています。

小型ポンプの部で優勝!



田村市消防団 大越地区隊 隊長 大橋 健二

スマートICの設置へ本格始動



市は、磐越自動車道の船引三春—小野インターチェンジ間の大越町牧野地内に設置を計画している「田村中央スマートIC(仮称)」の供用開始に向け、地区協議会を設立しました。

6月26日に開いた初会合では、出席した市や国、県、警察、東日本高速道路(株)などの関係者が実施計画を了承し、今後の事業の流れを確認しました。

現在、船引三春ICと小野ICの距離は20.5kmと長く、この区間に住む近隣住民にとって高速道路が利用しにくい状況にあります。スマートICが完成すれば、市民の生活をはじめ、救急

医療や産業、観光などの面で利便性の向上が期待できます。

【スマートインターチェンジの概要】

- 運用形態：24時間
- 対象車種：ETC車載器を搭載した全車種
- 利用形態：一旦停止型、フルインター(上下線ともにも出入り可)
- 監視体制：上下集約型
- 連結予定施設：市道堀之内線

力強い主張に大きな拍手

田村市少年の主張大会の常葉支部大会が7月5日、文化の館ときわで開かれました。常葉の各小学校5、6年生の代表6人が、日頃感じていることや将来の希望などを堂々と発表しました。



ホールには市民や保護者など約80人が聴講に訪れ、発表した一人一人の児童に温かい大きな拍手を送っていました。結果は次のとおりです。(敬称略)

- 最優秀賞：本田みう(西向小6年) 演題「みんなを笑顔に」
- 優秀賞：吉田愛梨朱(関本小5年)、木幡蒼空(常葉小6年)、渡邊千磨(西向小5年)、坪井凜(関本小6年)、吉田悠里(常葉小5年)

採用に向け活発な情報交換



市内の立地企業と高校で進路指導を担当する教諭等との懇談会が7月4日、常葉公民館で開かれました。

市内の企業に就職を希望する高校生の採用と定住促進を目的として開かれたこの会合には、船引高校をはじめとする8校の進路指導の担当教諭と、市内に立地する企業24社の採用担当者が出席しました。互いの担当者は、新卒者の採用について活発な情報交換を行いました。